

# 沖縄企業のCSR意識等の調査と評価

山内 眞樹

(昭和16年6月16日)

公認会計士、税理士、ITコーディネータ

全国法人会総連合 税制委員  
沖縄事業再生研究会 理事  
沖縄振興開発金融公庫 新事業創出促進出資評価委員  
那覇地方裁判所 民事調停委員、専門委員  
沖縄総合事務局 金融行政アドバイザー  
日本公認会計士協会沖縄会 会長

平成18年4月

# 沖縄企業のCSR意識等の調査と評価

2006年4月1日  
山内公認会計士事務所  
山内 眞 樹

21世紀に入って、企業経営の環境が大きく変化し、それに伴ない経営理念及び企業行動の再構築が必要となってきた。

企業がその目的を達成し、事業を継続して行くためには、経済的側面の考慮だけでは充分ではなくて、むしろ社会的側面の配慮こそが重要である。

利益を計上し、事業を継続していくためには、市場、環境、人間、社会、を最重要な経営環境と認識して、社会的責任を果たし得る経営組織を確立する必要がある。

企業は、社会の一員としての認識を明確にし、CSR（企業の社会的責任）を経営理念の構築の土台とし、その実践を行わなければならない。

現状における沖縄企業のCSR意識をまとめるために、2004年10月及び2005年10月に当事務所の顧問先企業（会社）について、CSR意識の調査を行なった。

その結果を経済同友会（東京 2004年1月調査）と九州経済同友会（2005年3月調査）の調査結果と比較した。

また、経営者による企業の総合力等（日本公認会計士協会による中小企業金融円滑化施策の提言チェックリスト）についての調査を同時に行ない、県内企業のCSR意識と企業の総合力等についての相互の関連を検討した。

・ 沖縄企業のCSR意識と評価	1
・ 沖縄企業のCSR意識の調査結果	7
・ 沖縄企業の経営者による総合力の調査	16
・ 調査対象企業の財務諸表の適正表示等の調査	25
・ 調査集計内容、方法等の説明	27